



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月1日

上場会社名 株式会社昭和システムエンジニアリング 上場取引所 東
コード番号 4752 URL <https://www.showa-sys-eng.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 裕一
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 五十嵐 真貴 TEL 03-3639-9051
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,951	16.2	599	42.5	610	42.7	420	43.1
2023年3月期第2四半期	3,400	9.1	420	24.7	427	24.8	293	24.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	96.01	—
2023年3月期第2四半期	67.09	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	7,775	4,666	60.0
2023年3月期	7,676	4,412	57.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,666百万円 2023年3月期 4,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	3.0	790	3.4	800	3.1	536	1.7	122.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	4,810,000株	2023年3月期	4,810,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	435,201株	2023年3月期	435,169株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	4,374,816株	2023年3月期2Q	4,374,831株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、資源価格の高騰や物価高に加え、世界的な金融引き締めの影響など先行き不透明感はありましたが、経済活動の正常化を背景に、緩やかに景気回復の動きが続きました。

当社を取り巻く情報サービス産業においては、多岐にわたる業種で事業拡大、競争力強化、デジタル化への対応などIT投資需要は拡大基調が続いております。

このような環境下、当社は2022年4月からの中期経営計画「+transform 2nd Stage」の2年目として引き続き4つの基本方針①DXの推進、②既存ビジネス領域の維持・拡大、③社内デジタル基盤の強化、④人材確保と働き方改革のもと、バイモーダルなDXカンパニー実現に向け積極的な事業活動を行ってまいりました。

また、引き続き自社のDX推進に注力し、基盤の整備や業務プロセス改革によって生産性を向上させ、それを顧客への提案活動に繋げることで、利益増にも積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績は堅調な企業のIT投資需要を捉えることで、売上高3,951百万円(前年同期比16.2%増)、営業利益599百万円(前年同期比42.5%増)、経常利益610百万円(前年同期比42.7%増)、四半期純利益420百万円(前年同期比43.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ23百万円増加し、3,684百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は204百万円(前年同四半期は99百万円の獲得)となりました。

収入の主な要因は税引前四半期純利益610百万円、減価償却費の計上12百万円、未払消費税等の増加11百万円、未払金の増加30百万円であり、支出の主な要因は賞与引当金の減少130百万円、退職給付引当金の減少39百万円、売上債権の増加118百万円、棚卸資産の増加15百万円、法人税等の支払額141百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5百万円(前年同四半期は25百万円の使用)となりました。

支出の主な要因は差入保証金の差入による支出4百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は175百万円(前年同四半期は139百万円の使用)となりました。支出の主な要因は配当金の支払175百万円によるものであります。

② 財政状態の状況

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は6,339百万円(前事業年度末比155百万円増加)となりました。主な要因は現金及び預金が23百万円、売掛金及び契約資産が118百万円それぞれ増加したことによります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産は1,435百万円(同56百万円減少)となりました。主な要因は投資有価証券が13百万円増加したものの、繰延税金資産が64百万円減少したことによります。

その結果、当第2四半期会計期間末における資産合計は7,775百万円(同98百万円増加)となりました。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は1,078百万円(同116百万円減少)となりました。主な要因はその他に含めた未払金が30百万円増加したものの、賞与引当金が130百万円減少したことによります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債は2,029百万円(同39百万円減少)となりました。これは退職給付引当金が39百万円減少したことによります。

その結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は3,108百万円(同155百万円減少)となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は4,666百万円(同254百万円増加)となりました。これは配当金の支払174百万円による利益剰余金の減少があったものの、四半期純利益420百万円による利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金9百万円の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期業績予想につきましては、2023年5月12日に発表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,261,166	5,284,938
売掛金及び契約資産	893,544	1,012,289
仕掛品	786	16,340
その他	29,278	26,336
流動資産合計	6,184,776	6,339,905
固定資産		
有形固定資産	167,064	162,284
無形固定資産		
ソフトウェア	65,417	58,764
その他	3,332	3,332
無形固定資産合計	68,749	62,096
投資その他の資産		
繰延税金資産	720,186	655,987
その他	535,925	555,101
投資その他の資産合計	1,256,112	1,211,089
固定資産合計	1,491,926	1,435,469
資産合計	7,676,703	7,775,375
負債の部		
流動負債		
買掛金	338,168	340,588
短期借入金	10,000	10,000
未払法人税等	161,809	150,220
賞与引当金	419,774	289,294
その他	265,688	288,508
流動負債合計	1,195,440	1,078,612
固定負債		
役員退職慰労未払金	60,973	60,973
退職給付引当金	2,008,063	1,968,922
固定負債合計	2,069,036	2,029,895
負債合計	3,264,477	3,108,508
純資産の部		
株主資本		
資本金	630,500	630,500
資本剰余金	553,700	553,700
利益剰余金	3,510,289	3,755,312
自己株式	△237,938	△237,976
株主資本合計	4,456,551	4,701,536
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	135,052	144,709
土地再評価差額金	△179,378	△179,378
評価・換算差額等合計	△44,326	△34,669
純資産合計	4,412,225	4,666,866
負債純資産合計	7,676,703	7,775,375

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,400,288	3,951,209
売上原価	2,768,638	3,132,063
売上総利益	631,650	819,145
販売費及び一般管理費	211,151	219,849
営業利益	420,498	599,296
営業外収益		
受取利息	124	115
受取配当金	4,923	6,929
受取家賃	930	930
受取手数料	285	238
雑収入	1,002	2,743
営業外収益合計	7,265	10,956
営業外費用		
支払利息	23	25
その他	0	—
営業外費用合計	23	25
経常利益	427,740	610,228
税引前四半期純利益	427,740	610,228
法人税、住民税及び事業税	96,451	130,275
法人税等調整額	37,779	59,937
法人税等合計	134,231	190,212
四半期純利益	293,509	420,016

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	427,740	610,228
減価償却費	4,269	12,550
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△98,290	△130,479
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	576	△39,140
受取利息及び受取配当金	△5,048	△7,045
支払利息	23	25
売上債権の増減額 (△は増加)	△20,358	△118,745
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,775	△15,554
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△470	2,966
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,051	2,420
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△11,984	11,023
未払金の増減額 (△は減少)	△55,504	30,671
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△21,902	△19,239
その他	106	60
小計	223,984	339,740
利息及び配当金の受取額	5,053	7,049
利息の支払額	△48	△53
法人税等の支払額	△129,246	△141,940
営業活動によるキャッシュ・フロー	99,742	204,796
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,300,000	△1,300,000
定期預金の払戻による収入	1,300,000	1,300,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△23,634	△650
貸付けによる支出	△656	—
貸付金の回収による収入	2,966	664
差入保証金の差入による支出	△3,961	△4,089
会員権の取得による支出	—	△1,700
その他	108	△144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,178	△5,920
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△38
配当金の支払額	△139,276	△175,065
財務活動によるキャッシュ・フロー	△139,276	△175,104
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△64,712	23,771
現金及び現金同等物の期首残高	3,397,891	3,661,166
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,333,179	3,684,938

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期損益計算書計上額(注)2
	ソフトウェア開発事業	BPO事業	合計		
売上高					
SEサービス	2,983,374	65,763	3,049,138	—	3,049,138
受注制作	351,150	—	351,150	—	351,150
顧客との契約から生じる収益計	3,334,524	65,763	3,400,288	—	3,400,288
セグメント利益	626,719	4,930	631,650	△211,151	420,498

(注) 1. セグメント利益の調整額△211,151千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期損益計算書計上額(注)2
	ソフトウェア開発事業	BPO事業	合計		
売上高					
SEサービス	3,516,977	67,617	3,584,594	—	3,584,594
受注制作	366,615	—	366,615	—	366,615
顧客との契約から生じる収益計	3,883,592	67,617	3,951,209	—	3,951,209
セグメント利益	809,748	9,397	819,145	△219,849	599,296

(注) 1. セグメント利益の調整額△219,849千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。